

2025 年度事業予算計画書

2025 年 4 月 1 日

一般社団法人 Home NOC Operators' Group

目次

2025 年度の施策概要	3
法人運営.....	3
事業計画.....	4
他の技術コミュニティとの交流や勉強会の開催に関する事業.....	4
ネットワークをはじめとする設備の設計、構築、運用に関する事業	4
新しいネットワーク技術を利用した実験に関する事業.....	5
インターネット接続性や設備の提供やその運用に関する事業	5
予算計画.....	6

2025 年度の施策概要

2025 年度で当法人は設立 5 期目を迎えます。また任意団体であった期間を合算すると 10 年目を迎えました。今後も活動を継続していくために、安定した法人運営のためのコストの適正化を行います。また、学生や若手メンバーを中心とした組織作りを進めると共に、活動の目的の再定義を進めてまいります。

会員及びに関係各社の皆様には、今までの当法人の事業に対するご理解とご協力に厚く謝意を表すると共に、今後についてもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

法人運営

- 安定した法人運営

安定した法人運営のためには、会費と寄付による安定した資金が必要不可欠である。会費の支払いが遅延している会員も多く、会員システムの改善などによる会費の未納防止と徴収業務の負荷軽減を図る。また、当法人の活動に多くの方からご理解を頂くために積極的に成果のアウトプットを行う。

- 物価高騰に伴う施策検討

当法人の事業で利用しているネットワークサービス（通信回線、データセンターなど）は昨今の物価高騰や為替などの社会情勢を受けて値上げが続いている。また JPNIC より割当を受けている IP アドレスの維持料値上げが 2026 年度に予定している。当法人では IP アドレスの割り当て数に対して会費の差は設けていないが、一定数を超える IP アドレスについては実費負担をお願いするなどの施策を検討する。

- 学生正会員の採用

昨年に引き続き、技術コミュニティなどを通じて学生正会員の勧誘を行う。今後の本法人を率いていく若い世代の育成を目指す。

事業計画

他の技術コミュニティとの交流や勉強会の開催に関する事業

- 海外のカンファレンス参加

昨年度に続き積極的に海外のカンファレンスに参加し、他の組織のエンジニアとの交流を行うと共に、当法人の活動について積極的なアウトプットを行う。また、フィリピンの技術コミュニティとの交流を活発化する。

- 国内のカンファレンス参加

昨年度に続き積極的に海外のカンファレンスに参加し、他の組織のエンジニアとの交流を行うと共に、当法人の活動について積極的なアウトプットを行う。

- 台湾の技術コミュニティとの交流

2025年4月に開催予定のTWNORGへの参加し、当団体との国立成功大学ITLABの皆様、STUIXなどの学生の活動が活発である台湾の技術コミュニティとの交流を行う。

ネットワークをはじめとする設備の設計、構築、運用に関する事業

- 海外接続拠点（2拠点目）の検討

昨年度より現地の企業や団体と交渉をはじめている、台湾、シンガポール、サンノゼの接続拠点について資金状況なども考慮して実施可否の判断を行う。接続が決定した際には構築を行う。

- 新EtherIPトンネル方式の展開

FreeBDSを利用したEtherIPトンネルについて全拠点への展開を行い、現在利用中のIXシリーズのEtherIPルータを全廃し、ボトルネックの解消によるスループットの向上と設備規模の適正化を図る。

- サーバー基盤リニューアルの完遂

VMware製品の無償提供終了に伴い、2023年度より実施しているProxmoxへの切り替えを完遂すると共に、旧式化したサーバー基盤のアーキテクチャの刷新などのリニューアルを行う。

- メールサーバのリプレイスの完遂

DMARK/DKIM への対応など昨今のメールサーバには高いセキュリティが求められている。同技術への対応および Web メールを導入などメールサーバのリニューアルを行う。

新しいネットワーク技術を利用した実験に関する事業

- 新技術の研究とチャレンジ

各技術コミュニティへの参加などにより最新の技術について情報収集を行い興味のある技術について検証や当法人のネットワークへの実装を行う。

インターネット接続性や設備の提供やその運用に関する事業

- 会員管理システム「ダッシュボード」の高度化

実験ネットワーク会員の増加により、設定変更作業や会費請求事務にかかる工数の増加が課題となっている。「ダッシュボード」の機能強化を行いこれらの業務にかかる工数を削減する。

以上

予算計画

科目	金額 (単位：円)
(1) 経常収益	
ネットワーク会員受取会費	1,000,000
受取寄付金	250,000
雑収入	10,000
経常収益計	1,260,000
(2) 経常費用	
事業費	
通信費	700,000
賃借料	350,000
消耗品費	50,000
手数料	50,000
事業費計	1,100,000
管理費	
会議費	10,000
消耗品費	20,000
通信費	30,000
管理費計	50,000
経常費用計	1,170,000
期首正味財産残高	△37,340
期末正味財産残高	52,600